

平成29年度美化キャンペーン活動

6月4日(日)の美化キャンペーン当日は、清々しく青空の広がった快晴の下、暑さ対策をしながらの活動となりました。当番は大井南浜町会と北浜川仲町会です。

「やめよう！ポイ捨て」の幟旗のぼりばたをゴミ収集のリヤカーの周りに賑やかに立て並べ、襷たすき掛けでキャンペーンパレードのコースを清掃活動しながらセレモニー会場のみなみ児童遊園まで行進をしました。



キャンペーンパレードのコースの清掃活動

出発したくじら公園では花見の名残の桜の実がたくさん撒き散らされていましたが、自然の物には違和感がありません。しかし、道の隅々に散る空き缶やタバコの吸い殻等はやはり汚い。ちょっとした気遣いで無くなるはずのゴミですが、中々意識されないようです。

でも日々清掃しているのは、ポイ捨てしない人々なんですよね。



リヤカーを先頭に清掃活動

<町会より>

昔の思いで

鮫洲南町会

昔といっても6、70年くらい前の日常の風景や生活など思い出してみました。昭和17年生まれです。学校は地元の鮫浜小学校と浜川中学校で高校は他地区にて卒業致しました。小学生の頃の服装を思い出しますと継ぎつぎの当たっている服は当たり前で履物も下駄や草履の友だちがたくさんいました。

三種の神器と言われた電化製品などほとんど無かった時代、子どもは鬼ゴッコやチャンバラゴッコ、身体を使って走りまわっていました。母親は洗濯だけでも、洗濯板でゴシゴシ大変だったことと思います。兄弟4、5人は当たり前。今の子どもたちと違ってTVゲームや塾などなかった時代でした。

気候も今より寒く、そのうえ家の建付けも悪く隙間風は入るは、今日のようにダウンや新しい素材の下着もありません。昭和

20年代の真冬には運河が凍ったこともありました。

その運河も昔はゴミ収集がきちんとされてなかったのか、運河も立会川もごみだらけでした。河口ではヘドロが溜りメタンガスが発生して臭かった記憶もありました。今年の春頃はヘドロをポンプで吸い上げ新しい砂を入れゴミも無くきれいな運河に生まれ変わりました。



運河のヘドロと新しい砂の入れ替え

欲しい物はたくさんありましたが、貧しい暮らしでも、周りも皆同じような生活なので楽しかったです。今の生活に慣れてしまった私にはもう昔には戻れません。(土田)